

(一般質問)

| 質問日 | 令和5年3月7日(火) | | 質問方式 | 分割方式 | | | |
|----------------------------|-------------|--|---------|------|----|------------|-------|
| 質問順位 | 2 | 会派名 | 自由民主党浜松 | 議席番号 | 15 | 氏名 | 久米 丈二 |
| 表 題 | | 質 問 内 容 | | | | 答弁者の職名 | |
| 1 本市のもうかる農業の進展状況と将来の展望について | | <p>本市の農業振興ビジョンである「もうかる農業」の推進に当たっては、生産から販売に至るまで市民全体での取組を掲げている。また、「浜松パワーフード」は食の魅力の拡大と、消費拡大につなげる取組として、大変期待している。</p> <p>こうした食をつくり出す農業は、地域の土壌、気象条件への対応など、先代からのたゆまぬ努力により形成された産地で、生産者らが共に支え合い、競争力を高めている。</p> <p>令和2、3年度で整備された三ヶ日柑橘選果場は、全国初となるAIセンサーを導入し、現在進められているデジタル田園都市への布石の一つとなっている。</p> <p>しかし、昨今の農業を取り巻く環境は、台風やひょうなどの気象による被害、有害鳥獣や病害虫による被害、豚熱などの特定家畜伝染病の感染拡大、さらに新型コロナウイルス感染症の蔓延や、社会情勢などの課題が発生し、大変厳しい状況である。</p> <p>このような厳しい状況の中、本市の農業者の人材確保や今後の農業政策について、以下2点伺う。</p> <p>(1) 今後の新規就農者の人材確保と定着率向上の施策について伺う。</p> <p>(2) 本市の農業施策の実績と今後の展望について伺う。</p> | | | | 清水農林水産担当部長 | |
| 2 文化財としての宇志瓦塔遺跡の調査・復元について | | <p>北区三ヶ日町宇志地区には、宇志北大里遺跡(瓦塔遺跡)がある。</p> <p>本市文化財に指定されている瓦塔遺跡は、宇志大里山の市有地の山中にあり、ここから瓦塔が発掘されている。瓦塔とは、瓦でできた仏塔のことで、瓦製塔婆を指す。この瓦塔遺跡から出土した瓦塔は、高さ2.03メートルであり、建立されたのは1000年以上も昔の、奈良時代末期から平安時代前期とのことである。</p> <p>この宇志の瓦塔は、日本で2番目に復元されたもので、その優雅な姿の原物が、奈良国立博物館に収蔵されている。</p> <p>このような歴史的にも珍しい瓦塔が本市にはあったが、旧三ヶ日町時代に奈良国立博物館に寄附してしまったため、本市の博物館や地元には残っていない。</p> <p>そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 現地には、瓦塔の破片などが未発掘で残っていると思われるが、発掘調査を実施する予定はあるか伺う。</p> <p>(2) 発掘調査の成果も踏まえ、瓦塔のレプリカを制作し、</p> | | | | 嶋野文化振興担当部長 | |

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

| 表 題 | 質 問 内 容 | 答弁者の職名 |
|---|--|------------------------|
| | <p>本市の博物館や地元の三ヶ日協働センターなどで展示する考えはないか伺う。</p> | |
| <p>3 大河ドラマ館・広場の活用について</p> | <p>大河ドラマ「どうする家康」の放送が始まった。この大河ドラマは本市にとっても、「おんな城主 直虎」以来の観光の起爆剤として、大いに期待を寄せるところである。</p> <p>物語は、戦国時代から天下統一までの物語と聞いている。家康公が天下人となった後、江戸城内で花火見物をしたと伝えられているが、その花火の中には、本市北区に伝わる手筒花火もあったと伝わっている。</p> <p>この手筒花火は、戦国時代の通信連絡用に使用された「のろし」であったとされている。鉄砲伝来と共に伝わった黒色火薬を、徳川の鉄砲隊が三河岡崎に持ち帰ったことで発展し、豊橋から三ヶ日・引佐に現在まで伝わっている手筒花火となった。このような歴史的伝統芸能文化が本市北区にはあることから、これらを取り上げ、内外に紹介していく取組は考えているのか、以下3点について伺う。</p> <p>(1) 本市を舞台とした物語は、おそらく夏までと推測する。夏以降の大河ドラマ館を盛り上げていくために、どのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) 大河ドラマ館がある出世パークのイベント広場を使った夜間のイベントなどを考えているのか伺う。</p> <p>(3) 市民等が考えた手筒花火などを使ったイベント等を、本市としてどのように取り上げていくのか伺う。</p> | <p>鈴木観光・ブランド振興担当部長</p> |
| <p>4 「はままつ暮らし」移住支援体制と、まちなか定住促進補助金制度について</p> | <p>現在本市は、人口減少・過疎対策として「はままつ暮らし」移住支援体制を取っており、市外からの移住者にハマライフ住宅取得費等補助金として、最大100万円を補助している。また、東京圏から本市に移住し就職する人には、はじめようハマライフ助成事業費補助金があり、中山間地域に移住・定住し、コミュニティビジネス等を始めようとする人に対して、最大100万円の起業資金を貸与している。移住先の中山間集落には、Welcome集落制度もあり、実際に移住者を受け入れる地元を支援することで、円滑な移住を促進しているが、これらの制度は中山間地域限定の制度である。</p> <p>一方、都市中心部には都市整備部で行っているまちなか定住促進補助金制度があり、これは市外や市内の居住誘導区域外から居住誘導区域（市内中心部）に誘導し、全世代が暮らしやすくする制度である。</p> <p>両制度は、一方は中山間地限定、もう一方は市内中心部に人を集める制度である。そこで、その他の地域の対策はどうなっているのか、以下4点について伺う。</p> | |

| 表 題 | 質 問 内 容 | 答弁者の職名 |
|--|---|---|
| | <p>(1) 「はままつ暮らし」移住支援体制による市外からの移住実績について伺う。</p> <p>(2) 特に人口減少が進む中山間地域への対応について伺う。</p> <p>(3) まちなか定住促進補助金の実績について伺う。</p> <p>(4) 三ヶ日地区や引佐地区など、居住誘導区域外の市街地における土地利用の方針について伺う。</p> | <p>奥家市民部長</p> <p>〃</p> <p>井熊都市整備部長</p> <p>〃</p> |
| <p>5 三ヶ日地区内就学前施設、学校の教育環境の整備について</p> <p>(1) 就学前の教育、保育環境の向上について</p> <p>(2) 小・中学校の教育環境の向上について</p> | <p>(1) 現在、三ヶ日地区内には市立保育園が2園、市立幼稚園が3園あり、私立の保育園と幼稚園も各1園ある。三ヶ日地区の0歳児から5歳児までの未就学児童数は、平成25年度の615名から令和4年度には449名と166名減少している。また、令和4年度の出生数は47名と、子供の数の減少が深刻な状況である。</p> <p>これを止めることは難しいことかもしれないが、三ヶ日地区の財産である素晴らしい環境の中で、安心して子供を産み育てていくためには、社会情勢や保護者のニーズにマッチした就学前の教育や保育施設も重要と考える。</p> <p>そこで、以下2点について伺う。</p> <p>ア 三ヶ日地区の市立の就学前施設の子供数及び施設の老朽化等の現状について伺う。</p> <p>イ 三ヶ日地区の今後の就学前施設の在り方について伺う。</p> <p>(2) 令和4年12月に開催された本市の総合教育会議では、学校施設の老朽化への対応や、国の示す新しい時代の学びの実現に向けた協議がなされ、今後、学校施設整備に関する計画等に基づいて整備を進めていく、とのことであった。</p> <p>三ヶ日地域の小・中学校は5校あり、その校舎は昭和20年代から昭和40年代に建築され、耐震補強がされてはいるものの、築40年以上が経過している。特に三ヶ日西小学校は、校舎の老朽化に加え、裏山が土砂災害警戒区域であることから、災害の危険性も心配されている。</p> <p>また、三ヶ日地域の児童・生徒数は、平成18年度と比較すると約6割にまで減少し、小学校2校は複式学級が設置されている状況である。今後も三ヶ日地区では、子供の数が減少していくことが予測され、学校施設の老朽化対策と併せた、教育環境の向上が喫緊の課題であると考えます。</p> <p>そこで、以下2点について伺う。</p> | <p>吉積こども家庭部長</p> <p>田中学校教育部長</p> |

| 表 題 | 質 問 内 容 | 答弁者の職名 |
|---------------------------------------|---|-----------------|
| <p>(3) 小・中学校水泳授業におけるプール施設の在り方について</p> | <p>ア 本市における学校施設の現状と、今後の整備の方向性について伺う。</p> <p>イ 三ヶ日地区における教育環境の向上について伺う。</p> <p>(3) 昨年9月議会の鳥井議員による水泳授業における民間施設活用についての質問に対して、「本年度実証実験を行っており、今後、民間施設活用のメリット・デメリットを整理していく」との答弁があった。三ヶ日地区には4つの小学校と1つの中学校があり、先の質問のとおり、いずれの施設も老朽化が顕著である。今後、施設を更新していかなければならないと思うが、プール施設については、近くに「三ヶ日B&G海洋センター」があり、ここは室内温水プールで、年間を通じての利用もでき、送迎バスも所有しているため、送迎も可能である。自前で施設を整備するのではなく、こうした施設を利用していくことも可能ではないかと思う。</p> <p>そこで、以下2点について伺う。</p> <p>ア 本年度、内野小学校で実施した民間施設を活用したプール授業の実証実験結果について伺う。</p> <p>イ 実証実験を踏まえた、今後のプール施設整備の在り方について伺う。</p> | <p>田中学校教育部長</p> |